

小菅ヶ谷北公園だより

暦の上では春となりましたが小菅ヶ谷ではまだまだ寒い日が続いています。

新型コロナウイルスの流行がまた厳しくなり落ち着かない日々ですが、体調を崩されぬよう気を付けてお過ごしください。

季節のいきもの紹介

 アオジです。

比較的早い時期にやってくる冬の渡り鳥になります。

普段はやぶの中においてなかなか姿をみせてくれませんが、冬の小菅ヶ谷では一番数が多い鳥かもしれません。



 集団越冬中のナミテントウです。

風のアたらない暗い場所で身を寄せながら越冬しています。

テントウムシは寿命が2か月ほどと短いですが、産卵をせず越冬しているテントウムシは長生きすることができます。

 1月の中旬にはコウバイの開花が始まっています。

植わっている数は少ないですが、春に桜が咲くまでのあいだ公園を彩ってくれます。



 メジロがヤブツバキの蜜を吸いに来ています。

メジロはクチバシや舌が長いのでとても上手に蜜を吸うことができます。

ヤブツバキはメジロのクチバシについた花粉で受粉が出来ますので共生関係にあります。



小菅ヶ谷北公園

<http://www.kosugayakitapark.com/>

指定管理：奈良生駒植木共同事業体

横浜市

栄区小菅ヶ谷4-31

管理棟 ☎ : 045-891-1151

バーベキュー ☎ : 050-5835-0493

公園Instagram

